



2026年3月期
第2四半期（中間期）決算

伯東株式会社
2025年10月30日

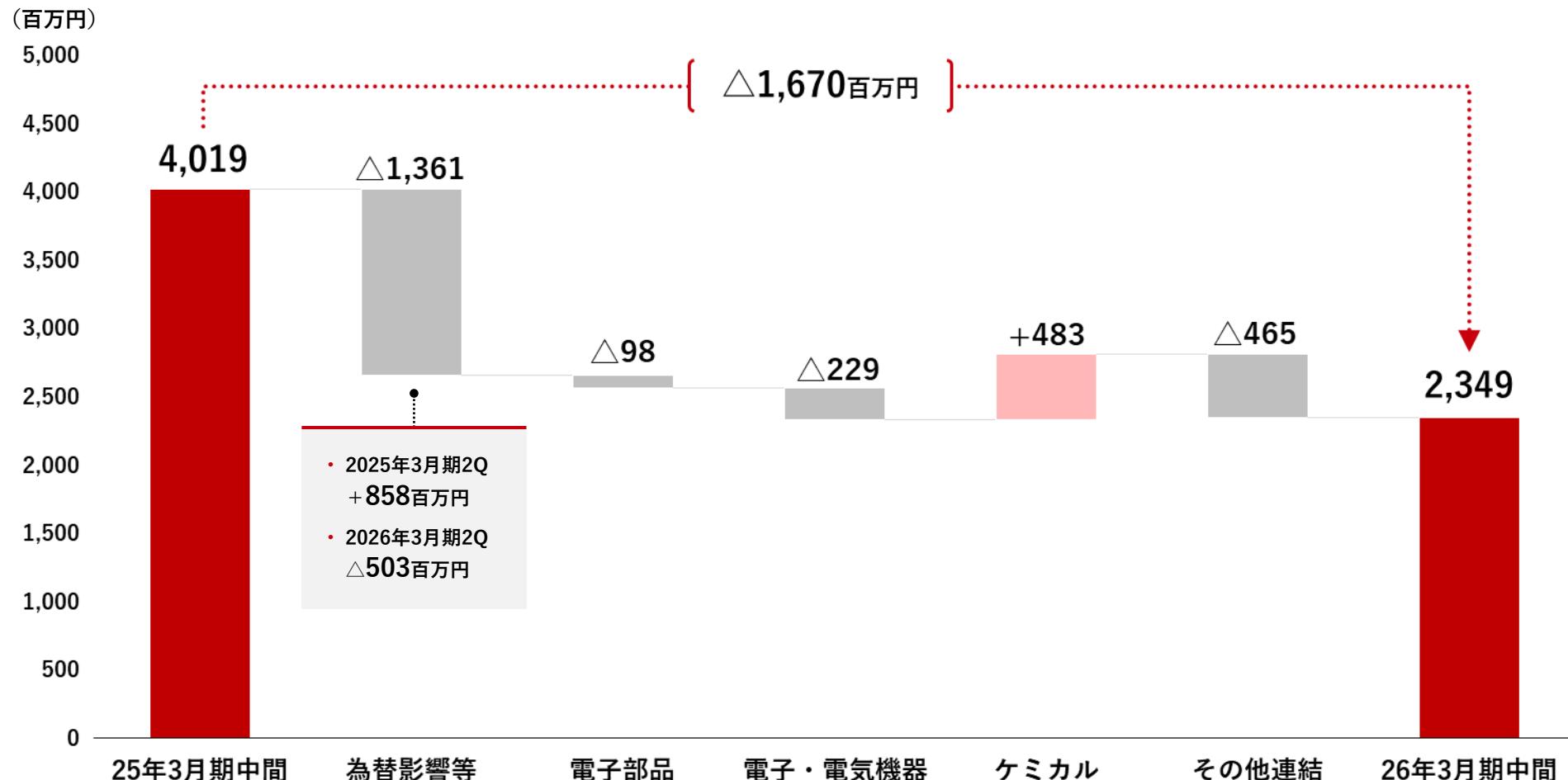
- 車載関連分野における顧客の在庫調整による販売減少、為替変動の影響による売上総利益率の低下、太陽光発電事業における修繕費や新規連結子会社に係るのれん償却費の発生等により、前年同期比では減収・減益となるが、利益面では期初の計画値を上回る

(百万円)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	2026年3月期 第2四半期(中間期)	前年同期比		・車載関連分野の半導体デバイスの販売減少等により減収 ・為替影響による売上総利益率低下 前年中間 15.0% ⇒ 当中間 14.6% ・売上総利益の減少と販管費の増加 (前年中間期末取得の新規連結子会社に係るのれん償却費等) ・為替差損：前年中間は5.4億円、当中間は2.5億円を計上 ・政策保有株式の売却により投資有価証券売却益6.1億円を計上
			増減額	増減率	
売上高	89,751	83,763	△ 5,987	△6.7%	●
売上総利益	13,440	12,229	△ 1,211	△9.0%	●
営業利益	4,019	2,349	△ 1,670	△41.5%	●
経常利益	3,825	2,325	△ 1,499	△39.2%	●
中間純利益	2,578	2,008	△ 569	△22.1%	●
EPS※	137.05	106.7	△ 30.35	—	

※ EPS : 1株当たり当期純利益

連結営業利益の増減要因（中間）

- 前年中間は為替変動(円安)による利益影響が8.6億円のプラス、当中間は円高により5億円のマイナス
- エレクトロニクス関連は前年同期比で減益、ケミカルは化粧品の回復により増益
- その他連結は太陽光発電事業の修繕費や新規連結子会社ののれん償却費等によりマイナス

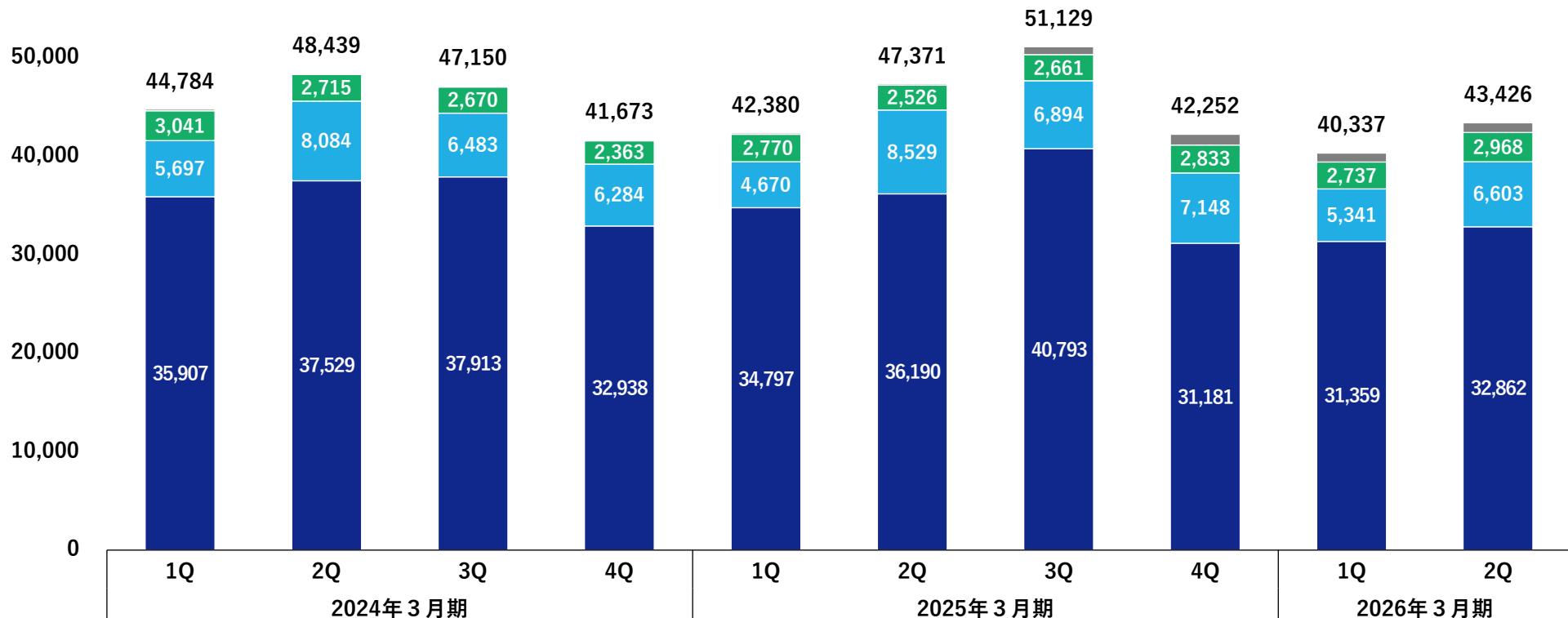


連結売上高の四半期推移

- 電子部品：車載向け半導体デバイスは25/3期3Qの一括販売以降、顧客の在庫調整が継続
生成AI関連(サーバー、インフラ)やOA機器分野は堅調持続
- 電子・電気機器：真空関連機器は堅調推移、前年度好調のパワーデバイス向け関連機器は顧客の設備投資抑制により販売が減少
- ケミカル：化粧品原料の販売は回復傾向が続く、紙・パルプ向け工程添加剤は販売が減少

(百万円)

60,000 ■ 電子部品 ■ 電子・電気機器 ■ ケミカル事業 ■ その他



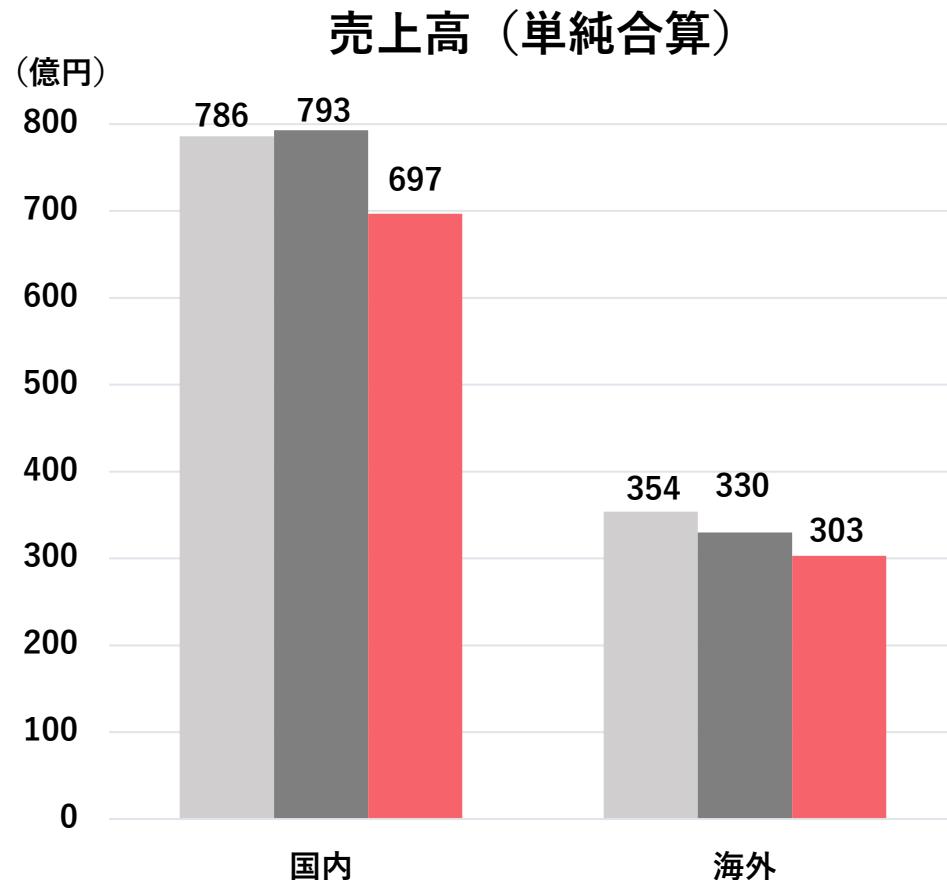
セグメント別業績

- 電子部品は顧客の在庫調整や為替変動、電子・電気機器も設備投資抑制により、それぞれ減収・減益
- その他は新規連結子会社の加入により増収、太陽光発電事業の修繕費やのれん償却費等により損失計上

(百万円)		2025年3月期	2026年3月期	前年同期比		
		第2四半期(中間期)	第2四半期(中間期)	増減額	増減率	
電子部品	売上高	70,987	64,221	△ 6,766	△9.5%	電子部品
	セグメント利益	3,174	1,273	△ 1,900	△59.9%	
電子・電気機器	売上高	13,199	11,944	△ 1,254	△9.5%	電子・電気機器
	セグメント利益	1,318	1,073	△ 245	△18.6%	
ケミカル	売上高	5,295	5,705	+410	+7.7%	ケミカル
	セグメント利益	△ 113	340	+454	—	
その他	売上高	479	2,094	+1,614	+336.8%	その他
	セグメント利益	△ 30	△ 502	△ 472	—	
合計	売上高	89,961	83,965	△ 5,995	△6.7%	合計
	セグメント利益	4,349	2,185	△ 2,164	△49.8%	

2026年3月期より、工業薬品事業はケミカル事業に名称を変更

※売上高はセグメント間内部取引消去前（同一セグメント内取引は相殺済）の金額

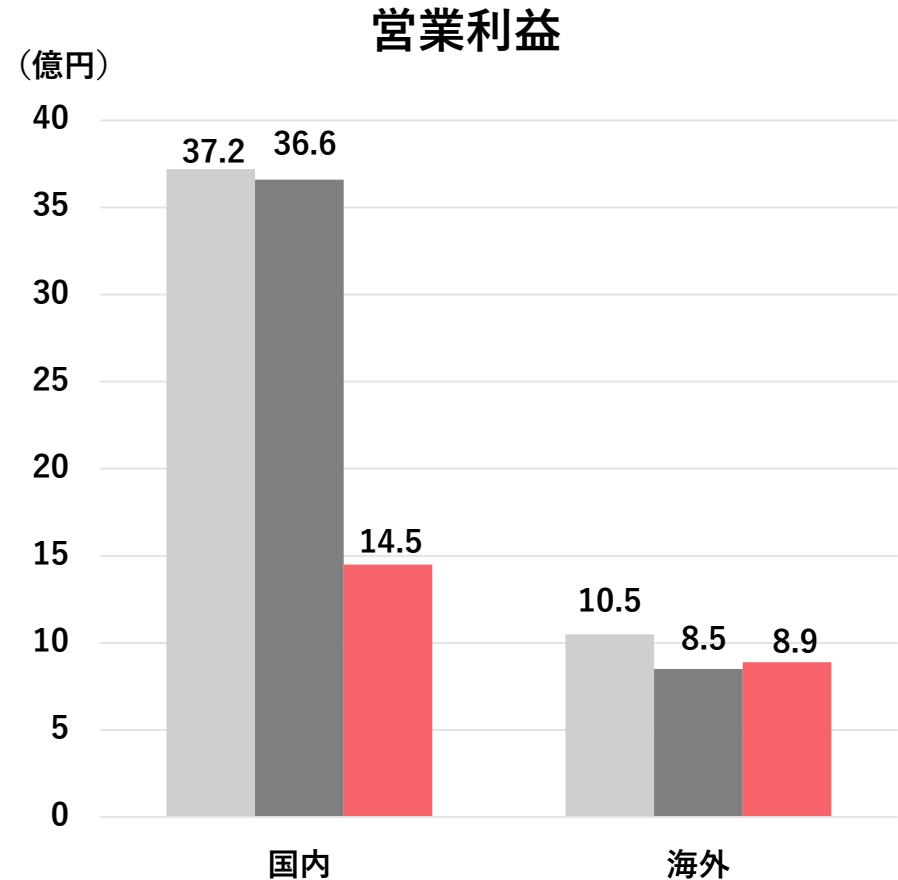


国内（伯東 + 連結子会社3社）

伯東、モルデック、HAL、クリアライズ

海外（連結子会社9社）：

伯東香港、上海、台湾、シンガポール、タイランド、他4社



■ 24/3期 2Q実績 ■ 25/3期 2Q実績 ■ 26/3期 2Q実績

連結貸借対照表



- 現預金と棚卸資産の増加等により、総資産は36億円の増加
- 仕入債務と有利子負債の増加等により、総負債は28億円の増加
- その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の増加等により、純資産は7.7億円の増加

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	
総資産	130,376	133,994	+3,618	
現預金	14,929	17,885	+2,956	・連結CF参照
売上債権	45,795	43,960	△1,835	・売上の減少に伴う減少
棚卸資産	44,484	47,072	+2,588	・契約に基づく商品仕入による増加
投資有価証券	8,333	9,124	+791	・保有株式の株価上昇による増加
総負債	64,829	67,676	+2,847	
仕入債務	17,571	19,829	+2,258	
有利子負債	35,282	36,481	+1,199	・長期借入金の返済と短期借入金の増加
純資産	65,546	66,318	+772	・株主配当による利益剰余金の減少
自己資本比率	50.3%	49.5%	—	・保有株式の株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加

キャッシュ・フロー計算書



- 売上債権の減少や仕入債務の増加等により、営業キャッシュ・フローは39億円の収入
- 投資有価証券の売却等により、投資キャッシュ・フローは1.5億円の収入
- 配当金の支払い等により、財務キャッシュ・フローは14億円の支出

(百万円)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	2026年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	・ 税前利益 +29億円、売上債権の減少 +21億円、棚卸資産の増加△25億円、仕入債務の増加 +22億円 ・ 投資有価証券の売却 +6.9億円、固定資産の取得△4.2億円 ・ 短期借入金の増加(純額) +46億円、長期借入金の返済△34億円、配当金の支払△24億円
	211	3,875	+3,664	
営業キャッシュ・フロー	△ 4,402	151	+4,553	
投資キャッシュ・フロー	4,555	△ 1,431	△ 5,986	
換算差額	△ 374	360	+734	
現金・現金同等物の増減額	△ 9	2,956	+2,965	
現金・現金同等物の 期末残高	15,559	17,885	+2,326	

2026年3月期 連結業績予想



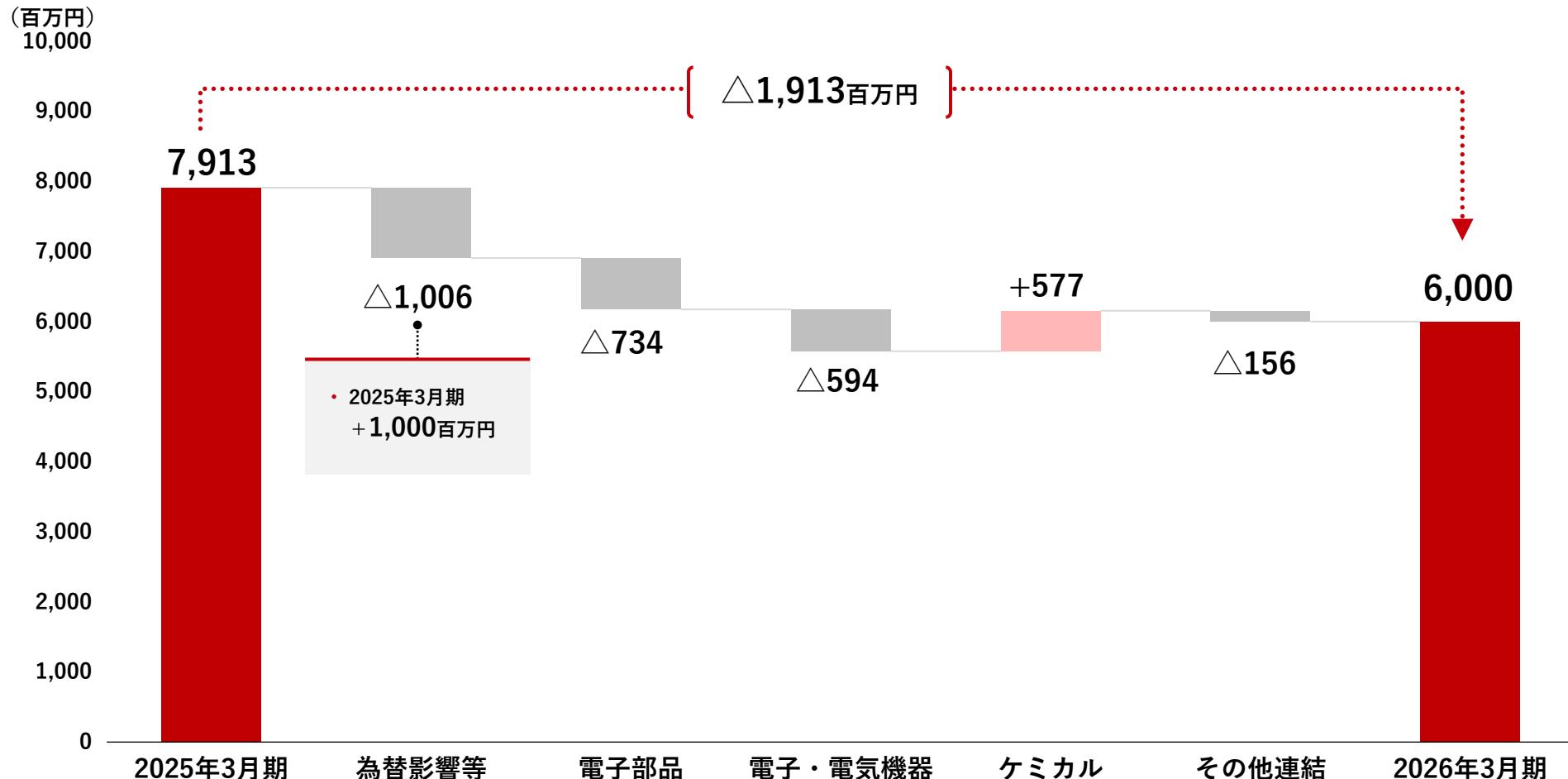
- 直近(2025年4月30日公表)の業績予想からの修正は無し
- 25/3期の利益押し上げ要因となった為替影響は26/3期予想に織り込まない一方、政策保有株式の売却益を見込み、当期純利益は対前年比微減を予想

(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期			前年比	
		上期(実)	下期(予)	通期	増減額	増減率
売上高	183,133	83,763	102,237	186,000	+2,866	+1.6%
売上総利益	27,878	12,229	14,471	26,700	△ 1,178	△4.2%
営業利益	7,913	2,349	3,651	6,000	△ 1,913	△24.2%
経常利益	7,321	2,325	3,375	5,700	△ 1,621	△22.2%
当期純利益	5,131	2,008	2,892	4,900	△ 231	△4.5%
EPS※	272.76円	—	—	260.41円	△12.35円	—
ROE	7.8%	—	—	7.5%	△0.3pt	—

※ EPS : 1株当たり当期純利益

連結営業利益の増減要因（通期）

- 半導体は顧客の在庫調整と需要低迷が継続、パワーデバイス向けの設備投資も鈍化
- ケミカルは化粧品需要の回復と環境及び電子産業分野の事業拡大を見込む
- 25/3期は、円安進行による為替影響が通期で約10億円のプラス



2026年3月期配当予想



- 直近(2025年4月30日公表)の配当予想からの修正は無し
- DOEの導入による安定的な株主還元：新中期経営計画(2026年3月期～2029年3月期)の配当指標として、配当性向70% (±5%) またはDOE5%のいずれか高い方を配当額の目安とする

		2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
1株当たり配当金	中間 (円)	140	130	100
	期末 (円)	140	130	100
	年間 (円)	280	260	200
配当金総額	年間 (百万円)	5,259	4,892	—
配当性向	(%)	101.4	95.3	76.8
純資産配当率 (DOE)	(%)	8.1	7.4	5.7

・ 1株当たりの期末配当金は130円、年間配当金は期初計画通り260円

・ 1株当たりの年間配当金は200円を予想



IRに関するお問い合わせ先

経営企画部  03-3225-8931

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。